

# 国語科学習指導案

I 単元 ゆみ子に手紙を書こう (『一つの花』)

## II 考察

### 1 教材観

#### (1) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

C読むことーウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

#### (2) 培われる主な資質・能力

- ・進んで登場人物の気持ちを想像しながら物語を読もうとする態度
- ・会話文や行動描写、情景描写を関連付けながら、登場人物の気持ちを想像して読む力
- ・物語を理解するために必要な語句について、辞書を利用して調べる習慣

#### (3) 教材および単元を貫く言語活動の価値

本単元では、教材として『一つの花』(光村4上)を取り上げる。その価値は以下のとおりである。

『一つの花』は、食糧事情の厳しい戦争中、おなかをすかせて食べ物を欲しがるゆみ子に対し、両親が愛情をかけて接する様子が描かれた物語である。戦争という過酷な状況の中で生きるゆみ子や両親の姿が描かれているため、子どもたちは登場人物の置かれた状況に関心を持ち、進んで気持ちを想像しながら物語を読もうとすることができる。

本教材は、登場人物の気持ちが、多くの会話文や行動描写、情景描写によって描かれている。特に、「一つだけ」を繰り返す幼いゆみ子を父が気にかける会話文や、父が出征時にゆみ子に一輪のコスモスを渡す際の行動描写、出征の十年後にゆみ子の家がコスモスに囲まれている情景描写等に注目することで、ゆみ子の成長に対する父の気持ちを想像しながら読むことができる。

また、本教材は、「だの」「勇ましく」「たえず」等、子どもたちが日常生活であまり使用しない語が複数用いられている。そのため、子どもたちがそれらの語句の意味を調べる必要感を持ち、国語辞典を用いて繰り返し調べながら物語を読み進めていく習慣を身に付けることにもつながる。

また、本単元では、成長したゆみ子に亡き父の気持ちを手紙で伝えるという言語活動を、単元を貫いて設定した。その価値は以下のとおりである。

手紙は、自らの思いやそれに関連する具体的なエピソード等を書いて特定の相手に伝えるものである。手紙を書くことは、多くの子どもたちが経験したことのある活動であるため、見通しをもちながら進んで取り組める活動である。

本単元では、手紙を書く相手として成長したゆみ子を、書く内容としてゆみ子に対する父の気持ちを設定した。ゆみ子は、戦争という過酷な状況の中で自分を育ててくれた父のことをほとんど知

らないことから、子どもたちは、愛情をもってゆみ子を育ててくれた父のことを伝えたいという思いをもち、進んで父の気持ちを想像しながら物語を読むことができる。また、会話文や行動描写、情景描写に着目し、それらを関連付けながら父の気持ちを想像することができる。

#### (4) 今後の学習

ここでの学習は、4年「自分の感想をもちながら読もう」(『ごんぎつね』)での、登場人物の気持ちの変化を想像して読み、叙述に対する一人一人の感じ方を話し合う学習へと発展していく。

#### 2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、4年「松井さんってどんな人？」(『白いぼうし』)において、会話文や行動描写を中心とした叙述を基に想像した登場人物の性格や気持ちを話し合う学習に取り組んできた。これらの学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ・登場人物の性格や気持ちを話し合うという目的をもって、進んで物語を読むことができるようになってきている。このような子どもたちが、父の気持ちに着目して進んで物語を読むことができるよう、「つかむ」過程において、「一つの花」という題名と本文との関わりについて考えたことを伝え合う活動を設定する。
- ・会話文や行動描写を基に、登場人物の性格や気持ちを想像することができるようになってきている。このような子どもたちが、複数の会話文や行動描写、情景描写を関連付けながら父の気持ちを想像することができるよう、父の気持ちについての自らの考えを表すメーターを用いて、考えの基となった具体的な会話文や行動描写、情景描写を挙げながら伝え合う場を設定する。
- ・物語の内容を理解するための語句について、国語辞典を利用して調べることができるようになってきている。そのような子どもたちが、登場人物の気持ちや場面の様子を表す語句について、必要に応じて意味を確かめながら読む習慣を付けることができるよう、国語辞典で調べる時間を確保する。

### Ⅲ 目標及び評価規準

#### Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

#### Ⅴ 本時の学習

- ねらい 出征する父の気持ちについての自らの考えと、その基となった叙述やその解釈を伝え合うことを通して、複数の会話文や行動描写、情景描写を関連付けながら、ゆみ子に対する父の気持ちを想像することができる。
- 準備 「安心」「不安」を両端に示した父の気持ちメーター 共有用本文シート
- 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点 (☆は研究上の手立て)
1 本時のめあてをつかむ。 ・「深いため息をついて」という行動描写から、ゆみ子が喜びを知らない大人になってしまうことを心配するお父さんの気持ちを	○前時の学習内容を想起できるよう、前時に選んだ父の会話文や行動描写とそこから想像した気持ちを問いかける。 ○ゆみ子と別れる父の気持ちについての自らの考え

想像したよ。

- ・ 汽車に乗ったお父さんは、どんな気持ちだったのかな。友達の考えも気になるな。

2 父の気持ちについての自らの考えを表す。

- ・ 別れる時のお父さんは、「にっこりわらう」とあるから、「安心」なのではないかな。
- ・ ゆみ子が「キャッキョと足をばたつかせてよろこびました」という言葉もあるから、やっぱりお父さんは「安心」だよ。

3 グループで、父の気持ちについての考えを伝え合う。

- ・ 「不安」が大きいと考えた友達もいるな。
- ・ 確かに、戦争に行くのに「見送りのない」のは、お父さんが「不安」で寂しい気持ちになるかもしれないね。
- ・ コスモスを「ごみすて場のような所」から見付けたというのは、「不安」の方が大きかったことの表れかもしれないな。
- ・ ぼくは、「一つの花を見つめながら」行って、もうゆみ子を見なかったから、「安心」の方が大きいと思ったよ。
- ・ でも、「一つの花を見つめながら」行ったのは、「不安」で仕方なかったからだというのは考えていなかったな。
- ・ 少し「安心」した気持ちもあるけど、いくつもの言葉を比べてみたら、やっぱり「不安」の方が大きかったのだと思うよ。

4 学習のまとめをする。

- ・ ゆみ子と別れるお父さんの気持ちが、いろいろな会話や行動、情景から想像できたよ。

を伝え合うという学習の見通しをもてるよう、「一つの花」をゆみ子に渡した第3場面の最後の部分を範読し、父の気持ちを問いかける。

☆父の気持ちについての自らの考えをもてるよう、出征時の父の気持ちについての自らの考えを表す「父の気持ちメーター」を用意し、「安心」「不安」の視点から自らの考えを表すよう促す。

○自らの考えの基となった叙述を明確にできるよう、「会話」「行動」「情景」を観点に父の気持ちを想像できる叙述を探し、線を引くよう促す。

☆自らの考えと友達の考えとの共通点や相違点に気付けるよう、3～4人のグループを編制し、互いが表した「父の気持ちメーター」を見せ合うよう促す。

☆友達の解釈から、新たな解釈を得られるよう、共有本文シートを用意し、父の気持ちについての考えの基となった叙述に線を引き、それに対する解釈を伝え合うよう促す。

○友達の考えと、その基となった叙述やその解釈から、自らの解釈を明確にできるよう、父の気持ちに対する考えが変わった際には、再度「父の気持ちメーター」を表し、自らの解釈を記述するよう促す。

評価項目

「安心」「不安」の視点から考えた父の気持ちと、その基となった解釈を記述している。

<学習プリント(4)>

○複数の叙述を関連付けて解釈できたことを自覚できるよう、複数の会話文や行動描写、情景描写に即して、父の気持ちを想像できたことを賞賛する。

指導と評価の計画（全7時間）

目標	会話文や行動描写、情景描写を関連付けて、父の気持ちを想像しながら読むことができる。			
評価 規準	(1) 進んで父の気持ちを想像しながら物語を読もうとしている。 (4) 会話文や行動描写、情景描写を関連付けて、父の気持ちを想像しながら読んでいる。 (5) 物語の内容を理解するために必要な語句について、国語辞典を利用して調べている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点（☆は研究上の手立て）	評価項目＜評価方法（観点）＞
つかむ	1	○『一つの花』を読んで初発の感想を発表し合い、「ゆみ子にお父さんの気持ちを伝える手紙を書こう」という学習課題をつかむ。	○父の気持ちに着目できるよう、「一つの花」という題名と本文との関わりについて考えたことを伝え合う活動を設定する。	◇父の気持ちを想像しながら、感想や疑問点を発言したり記述したりしている。 ＜発言・学習プリント（1）＞
ふかめる	1	○第1場面（冒頭～P.70 L.3）を読み、戦争中の生活状況を話し合う。	○戦争中の苦しい生活状況を捉えられるよう、戦争中の食糧難や空襲の様子が分かる写真資料を見たり、国語辞典を用いて語句の意味を調べたりする時間を確保する。	◇写真資料を基にしたり、語句の意味を国語辞典で調べたりしながら、戦争中の苦しい生活状況について記述している。 ＜学習プリント（5）＞
	1	○第2場面（P.70 L.5～P.71 L.4）を読み、父の気持ちを想像する。	☆会話文や行動描写に着目して父の気持ちを想像できるよう、父の気持ちについての自らの考えを表す気持ちメーターを用いて、考えの基となった叙述や解釈を伝え合う場を設定する。	◇会話文や行動描写を関連付けて、「安心」「不安」の視点から考えた父の気持ちと、その基となった解釈を記述している。 ＜学習プリント（4）＞
	1	<b>○第3場面（P.72 L.1～P.75 L.12）を読み、父の気持ちを想像する。（本時）</b>	☆会話文や行動描写、情景描写に着目して父の気持ちを想像できるよう、父の気持ちについての自らの考えを表す気持ちメーターを用いて、考えの基となった叙述や解釈を伝え合う場を設定する。	◇会話文や行動描写、情景描写を関連付けて、「安心」「不安」の視点から考えた父の気持ちと、その基となった解釈を記述している。 ＜学習プリント（4）＞
	1	○第4場面（P.76 L.1～終わり）を読み、「一つの花」の意味を考える。	○情景描写から父の気持ちを想像できるよう、コスモスに関わる叙述について、前場面と比較して考えたことを伝え合う活動を設定する。	◇これまでの場面の会話文や行動描写、情景描写を関連付けて、「一つの花」の意味を記述している。 ＜学習プリント（4）＞
	1	○ゆみ子にお父さんの気持ちを伝える手紙を書く。	○父の会話文や行動描写、情景描写を生かして手紙を書けるよう、手紙のモデルを提示する。	◇会話文や行動描写、情景描写を挙げながら、ゆみ子に伝えたい父の気持ちを手紙に書いている。 ＜手紙（4）＞
ふりかえる	1	○書いた手紙を発表し合い、単元の学習を振り返る。	○父の気持ちに対する読みの変化に気付けるよう、想像した父の気持ちと、「つかむ」過程で予想したこととを比較し、その変化を伝え合う活動を設定する。	◇父の気持ちに着目しながら、手紙についての感想を発言したり記述したりしている。 ＜発言・学習プリント（4）＞

